

第5学年 国語科学習モデル指導案

1. 単元名 「メディアとのかかわり方について考えよう」

2. 本時について

(1) 本時の目標

○筆者の主張を理解し自分の考えをもち、考えを明確にし発表することができる。

(2) 本時の展開(最後の10分の展開)

分	教師の支援	学習活動
1	○マンガ資料を配布し、新聞を読んだ人の気持ちを3人の異なる立場から考えさせる。	T: このマンガを読んで、新聞を読んだ人たちがそれぞれ、どんなことを考えたか想像しましょう。
<p>☆マンガ資料「情報を受ける人の立場になろう!」を配布し、新聞を読んだ人たちが、どんなことを考えたか考えさせ、情報は発信の仕方や受け取る立場によって、伝わり方や事実の捉え方が違うことに気付かせる。</p>		
2	○それぞれの立場の人になって、ワークシートの吹き出しに気持ちを書きこませる。	T: それぞれの立場の人の気持ちを想像して、書きましょう。
2	○何人かに発表させる。	C: 一生懸命にやっていた白組の人たちについても記事にして欲しいと思った。 C: 運動会を見ることが出来なかった人たちは、競技の結果だけでなく、応援団やダンスなどの表現種目の様子など、運動会の様子を知りたいのではないか。
2	○情報を発信するときに気を付けたいことを考えさせる。	T: 新聞の読者の気持ちを考えて、気づいたことはありますか。
2	○何人かに発表させる。	C: 新聞を書くときは、読む人の気持ちを考えて書きたいと思った。 C: 受け取る人によってこんなにも違うのだから、そのことを考えて書きたい。
1	<p>☆キャリアの宝につながる解説(児童への落とし込み)をする。</p>	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>今の世の中は情報化社会と呼ばれています。世の中は情報があふれています。みなさんも生活していく上で、多くの情報を受け取ることがあります。情報を受ける側、受信する側の時、どんな情報が欲しいと思いますか。正しい情報・最新の情報・役に立つ情報・聞いてうれしい気持ちになる情報などが思い浮かぶと思います。反対にあまり欲しくない情報は、そうではない情報ですよ。みなさんがもし、情報を伝える側、発信する側になった時は、受信する人たちがどんな情報を欲しいと思っているか考えてください。全ての情報が正しいものとは限りません。情報を受信するときも、発信するときも、この情報は正しいか、最新の情報が、受け取る人を傷つけるものではないかなどと常に考えることが大切です。</p> <p>みなさんの人生をより豊かに、素晴らしいものにするために、情報とうまくかかわりながら生活していきましょう。</p> </div>		